

# 宮城県商工地区中小企業景況調査報告書

2021年10月～12月期

## 目次

1. 県下産業全体の景況 .....	2
(1) 主要景況項目のあらまし .....	2
(2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし .....	3
(3) 今後の見通しについて .....	4
2. 県下産業別の景況 .....	5
(1) 製造業の動向 .....	5
(2) 建設業の動向 .....	8
(3) 小売業の動向 .....	11
(4) サービス業の動向 .....	14

2022年1月

宮城県商工会連合会

# 中小企業景況調査報告書

2021年10月～12月

## [調査要領]

### 1. 調査対象

- (1) 対象地区 宮城県内10商工会地区  
(調査対象商工会名) 名取市商工会、大河原町商工会、みやぎ仙台商工会、  
利府松島商工会、くろかわ商工会、加美商工会、  
遠田商工会、若柳金成商工会、みやぎ北上商工会、  
石巻かほく商工会
- (2) 対象企業数 150企業
- (3) 回答企業数 150企業

### 2. 調査対象期間

2021年10月～12月期を対象として、調査時点は2021年11月15日とした。

### 3. 調査方法

- (1) 商工会の経営指導員による訪問面接調査。
- (2) 対象企業の抽出は、商工会に於いて、業種・規模等有意選定。

### 4. 回答企業内訳

業 種	企 業 数
製 造 業	33
建 設 業	25
小 売 業	44
サービス業	48
合 計	150

### 5. そ の 他

本報告書中のD Iとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合と減少(低下・悪化)企業割合の差を示すものである。

# 1. 県下産業全体の景況

## (1) 主要景況項目のあらまし

### ① 業況D I の状況と来期見通し

県下商工会地区における今期(2021年10月～12月期)の調査において、産業全体(全産業)の業況D I(前年同期との比較D I、以下同じ)は、前期より12.9ポイントの改善で△34.0(前期△46.9)となった。産業別では、製造業が△39.4(前期△35.4)と△4.0ポイント悪化、建設業では△20.0(前期△34.6)と14.6ポイント改善、小売業も△53.6(前期△70.8)と17.2ポイント改善、サービス業でも△20.9(前期△40.4)と19.5ポイントの改善となった。

来期見通しでは、産業全体(全産業)として改善の見通しである。産業別では、製造業で改善、建設業では横ばい、小売業、サービス業でも改善の見通しである。

表一 業況D I の状況と来期見通し (前年同期比・D I)

業種	前期	今期	来期見通し
全産業	△ 46.9	△ 34.0	△ 26.5
製造業	△ 35.4	△ 39.4	△ 28.1
建設業	△ 34.6	△ 20.0	△ 20.0
小売業	△ 70.8	△ 53.6	△ 42.8
サービス業	△ 40.4	△ 20.9	△ 14.6

### ② 設備投資の状況と来期計画

新規投資の実施比率は、製造業が12.1%で前期比5.8ポイント増加、建設業は0.0%と前期比△7.7ポイント減少、小売業では9.1%で前期と同じ横ばい、サービス業では10.4%と前期比△8.7ポイントの減少であった。

来期に設備投資を計画している企業は、今期に比べ製造業で減少、建設業で増加、小売業で横ばい、サービス業では増加となっている。

表二 設備投資の状況と来期計画 (企業割合・%)

業種	前期	今期	来期計画
製造業	6.3	12.1	6.1
建設業	7.7	0.0	20.0
小売業	9.1	9.1	9.1
サービス業	19.1	10.4	16.7

## (2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし

### ① 売上額（完成工事額）

2021年12月調査の日銀短観で、「中小企業の業況判断指数（DI）は前期(2021年9月調査)と比較して、「製造業が2ポイント改善のマイナス1、非製造業は6ポイント改善のマイナス4だった。先行きは製造業で今期と同じ横ばい、非製造業では今期に比べ悪化を見込んでいる」と発表された。

宮城の今期売上額（完成工事額）DIは、全業種でマイナス値であった。前期との比較では製造業、小売業、サービス業で改善、建設業で悪化となった。

今期の宮城の全国・東北との売上額DI比較では、製造業・建設業・小売業で全国・東北以下、サービス業では全国・東北以上であった。

表－3 売上額（完成工事額）の状況 (前年同期比・DI)

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 12.6	△ 8.3	△ 13.0	△ 13.1	△ 34.4	△ 33.3
建 設 業	△ 18.0	△ 16.3	△ 18.5	△ 17.8	△ 34.6	△ 36.0
小 売 業	△ 42.9	△ 34.4	△ 54.7	△ 44.1	△ 75.0	△ 45.5
サービス業	△ 41.3	△ 26.3	△ 45.6	△ 29.1	△ 42.5	△ 20.9

### ② 採 算

宮城の今期の採算DIも、全業種でマイナス値であった。前期との比較では、製造業で悪化、建設業・小売業・サービス業では改善となった。

今期の宮城の全国・東北との採算DI比較でも、製造業・建設業・小売業で全国・東北以下、サービス業では全国・東北以上であった。

表－4 採算の状況 (前年同期比・DI)

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 23.2	△ 20.3	△ 20.7	△ 26.3	△ 31.2	△ 39.4
建 設 業	△ 26.2	△ 24.4	△ 32.1	△ 27.2	△ 50.0	△ 36.0
小 売 業	△ 44.0	△ 41.0	△ 57.3	△ 49.7	△ 69.8	△ 53.5
サービス業	△ 41.8	△ 32.2	△ 44.4	△ 39.8	△ 38.3	△ 29.2

### (3) 今後の見通しについて

#### ① 県下産業全般の主要項目来期見通し

宮城の売上額（完成工事額）来期見通しD I（2022年1月～3月期）では、今期状況D Iとの比較で、製造業で6.0ポイント改善、建設業で4.0ポイント改善、小売業で22.8ポイント改善、サービス業でも20.9ポイント改善の見通しとなった。

採算来期見通しD Iでも、今期状況D Iとの比較で、製造業で12.2ポイント改善、建設業で4.0ポイント改善、小売業で11.7ポイント改善、サービス業でも10.4ポイント改善の見通しとなった。

#### ② 全国と本県企業の来期見通し比較

今期と来期見通しとの比較において、製造業では売上は全国・宮城共に改善、採算でも全国・宮城で共に改善の見通しとなった。建設業では売上は全国で悪化、宮城で改善、採算でも全国で悪化、宮城で改善の見通しとなった。小売業では売上が全国・宮城で共に改善、採算でも全国・宮城で共に改善の見通しとなった。サービス業でも、売上が全国・宮城で共に改善、採算でも全国・宮城で共に改善の見通しとなった。

表－5 売上額（完成工事額）の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製造業	△ 8.3	△ 2.8	△ 33.3	△ 27.3
建設業	△ 16.3	△ 21.3	△ 36.0	△ 32.0
小売業	△ 34.4	△ 23.5	△ 45.5	△ 22.7
サービス業	△ 26.3	△ 5.7	△ 20.9	0.0

表－6 採算の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製造業	△ 20.3	△ 15.8	△ 39.4	△ 27.2
建設業	△ 24.4	△ 25.6	△ 36.0	△ 32.0
小売業	△ 41.0	△ 33.1	△ 53.5	△ 41.8
サービス業	△ 32.2	△ 20.8	△ 29.2	△ 18.8

## 2. 県下産業別の景況

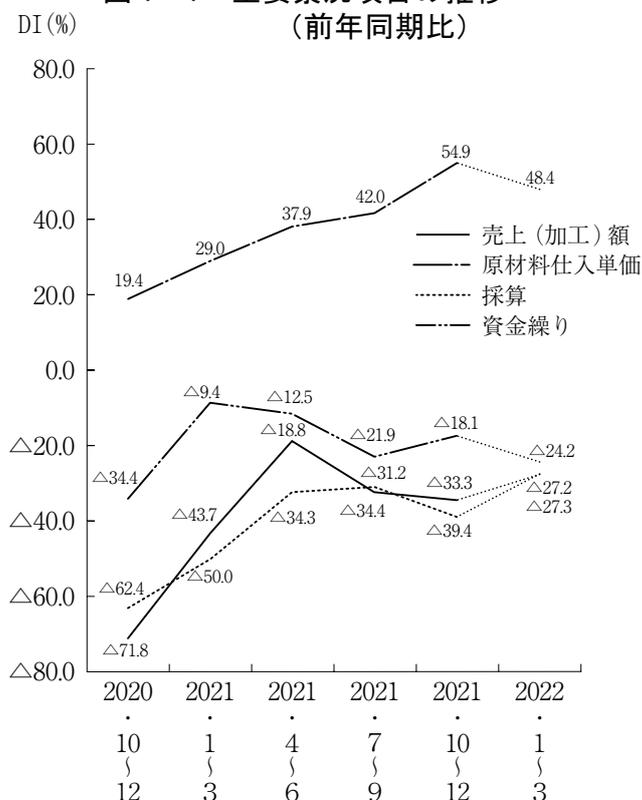
### (1) 製造業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

前年同期比D Iは、売上（加工）額D Iが今期△33.3（前期△34.4）となり1.1ポイント前期より改善、採算D Iでは今期△39.4（前期△31.2）で△8.2ポイント悪化、資金繰りD Iでは今期△18.1（前期△21.9）で3.8ポイントの改善となった。

原材料仕入単価は今期 54.9（前期 42.0）と12.9ポイント上昇した。

図1-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



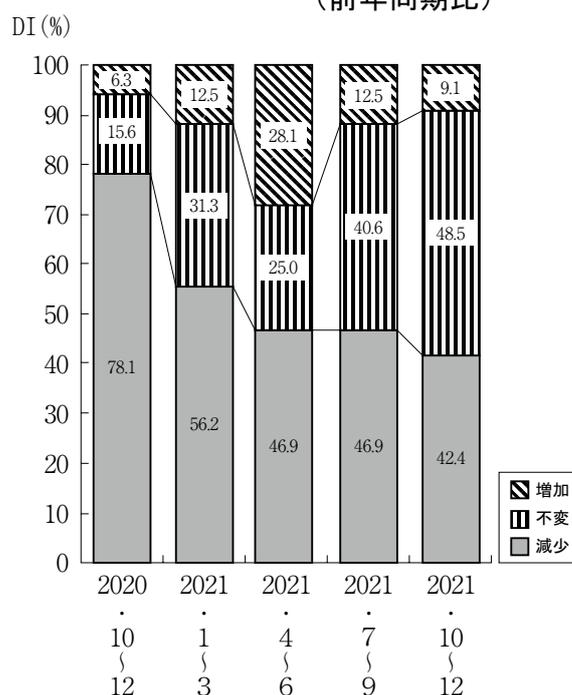
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上(加工)額

「増加」と回答した企業は、全体の9.1%（前期12.5%）と△3.4ポイント減少、「減少」と回答した企業も42.4%（前期46.9%）と△4.5ポイント減少した。

その結果、売上（加工）額D Iは△33.3（前期△34.4）となり前期比1.1ポイント改善した。

図1-2 売上（加工）額の状況  
(前年同期比)

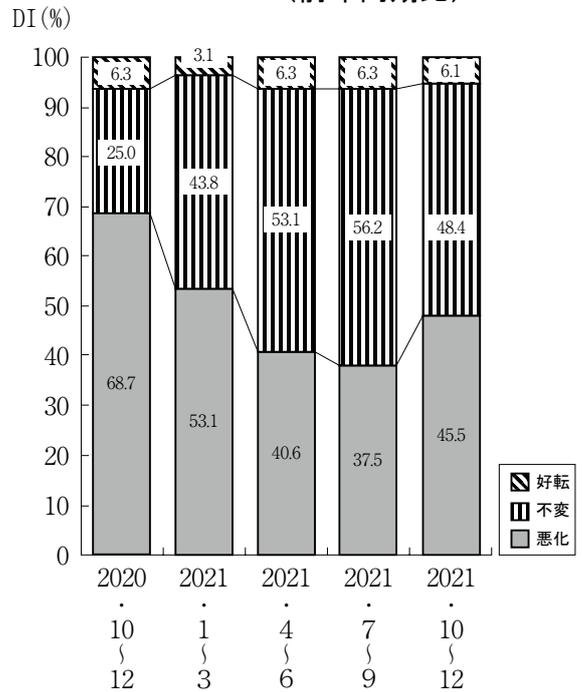


**(b) 採 算**

「好転」と回答した企業は全体の 6.1% (前期 6.3%) で△0.2%減少、「悪化」と回答した企業は 45.5% (前期 37.5%) で 8.0 ポイント増加した。

その結果、採算DIは△39.4 (前期△31.2) で前期より△8.2 ポイント悪化した。

**図 1-3 採算の状況 (前年同期比)**



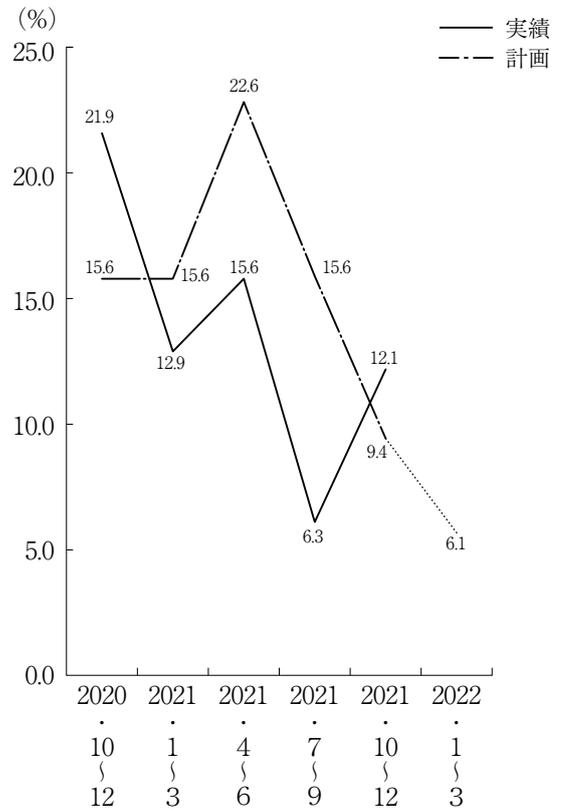
**(c) 設 備 投 資**

今期の新規投資実施(実績)企業割合は全体の 12.1% (前期 6.3%) で、前期と比べ 5.8 ポイント増加した。

その設備内容は、生産設備、付帯施設、OA機器、その他であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 6.1%で、その設備内容は、生産設備となっている。

**図 1-4 設備投資の状況**



**(d) 経営上の問題点**

重要度第 1 位の問題点は「原材料価格の上昇」で 26.9%、次いで「需要の停滞」が 19.2%、「従業員の確保難」が 11.5%が続いた。

重要度第 1 位から第 3 位合計では「原材料価格の上昇」と「需要の停滞」が同率 46.2% (複数回答合計、以下同じ) で最上位、次いで「製品 (加工) 単価の低下、上昇難」と「人件費の増加」が同率 34.6% で続いた。

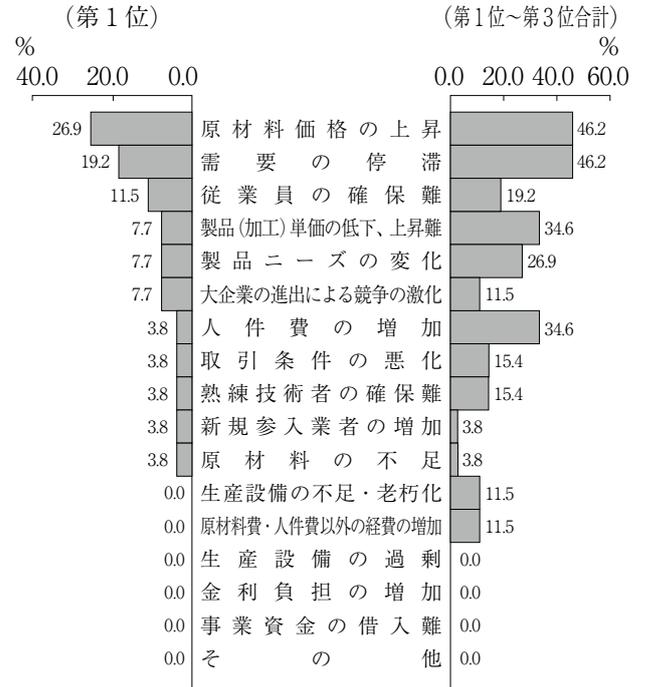
**③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較**

今期と前期の比較では売上 (加工) 額 D I では全国、宮城で改善、東北で若干悪化した。その改善度は全国、宮城の順であった。

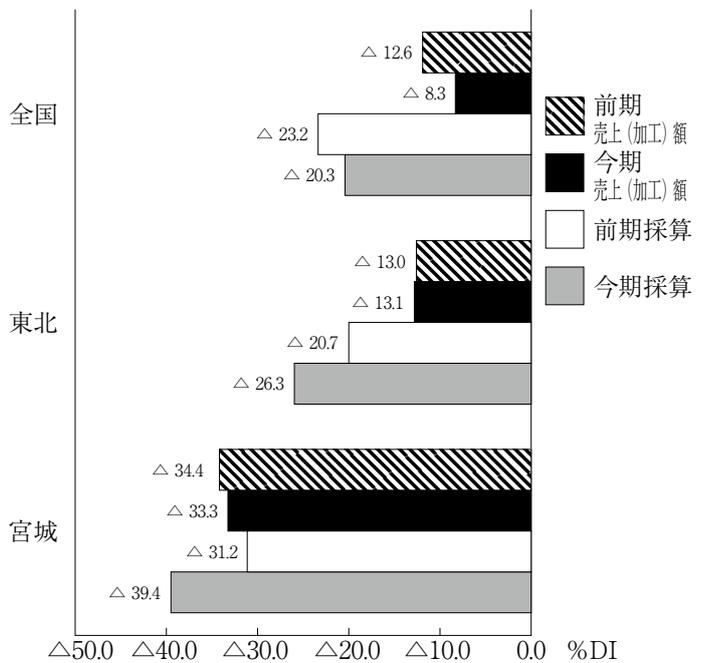
採算 D I の比較では、全国で改善、東北、宮城で悪化した。その悪化度は宮城、東北の順であった。

本県回答事業者からは「コロナ後の生活観の変化、需要の変化や多様化の影響を見届ける必要あり」(酒造業) や、「経費抑制だけでは限界。いかに効率よく稼働していくかが課題」(縫製業) などのコメントがあった。

**図 1-5 経営上の問題点**



**図 1-6 全国東北宮城売上 (加工) 額・採算比較 (前年同期比)**

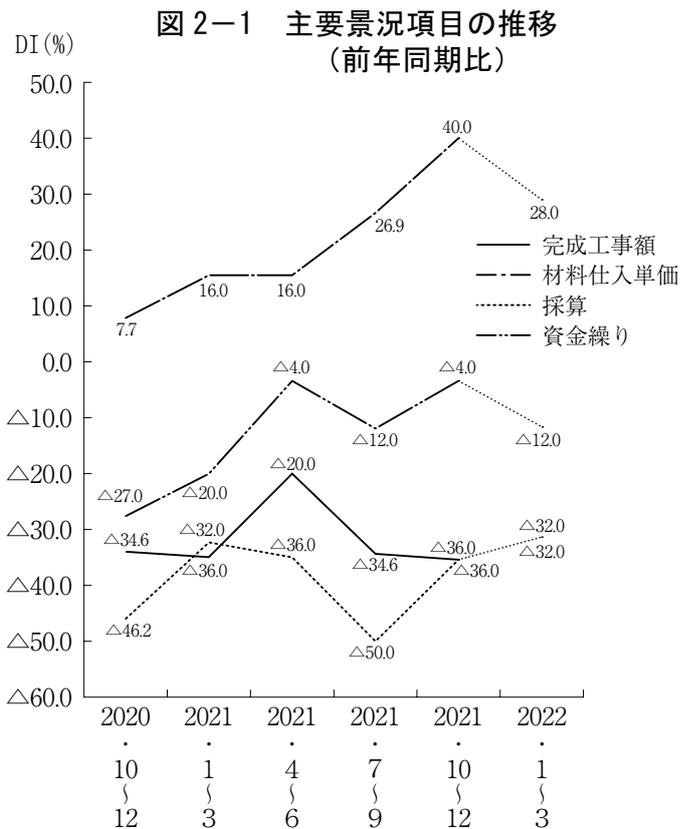


## (2) 建設業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらまし

完成工事（請負工事）額D Iは今期△36.0（前期△34.6）と△1.4ポイント悪化、採算D Iでは今期△36.0（前期△50.0）で14.0ポイント改善、資金繰りD Iでも今期△4.0（前期△12.0）と8.0ポイント改善した。

材料仕入単価D Iは今期 40.0（前期 26.9）と 13.1ポイント上昇した。

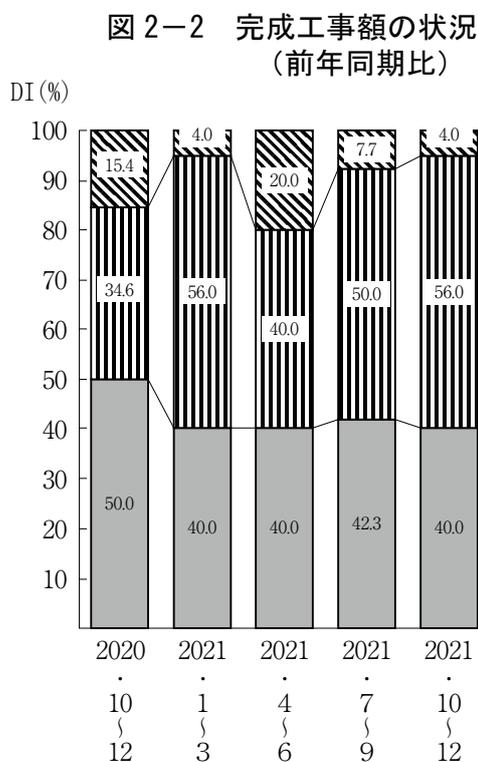


### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 完成工事（請負工事）額

「増加」と回答した企業は全体の 4.0%（前期 7.7%）で△3.7ポイント減少、「減少」と回答した企業も 40.0%（前期 42.3%）で△2.3ポイント減少した。

その結果、完成工事（請負工事）額D Iは△36.0（前期△34.6）と△1.4ポイント悪化した。

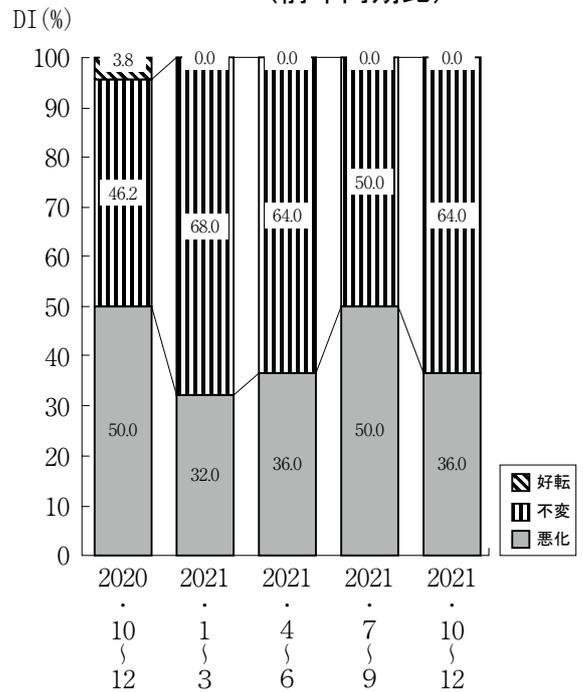


**(b) 採 算**

「好転」と回答した企業は全体の 0.0% (前期 0.0%) で横ばい、「悪化」と回答した企業は全体の 36.0% (前期 50.0%) で△14.0 ポイント減少した。

その結果、採算DIは△36.0 (前期△50.0) と前期より 14.0 ポイント改善した。

**図 2-3 採算の状況 (前年同期比)**

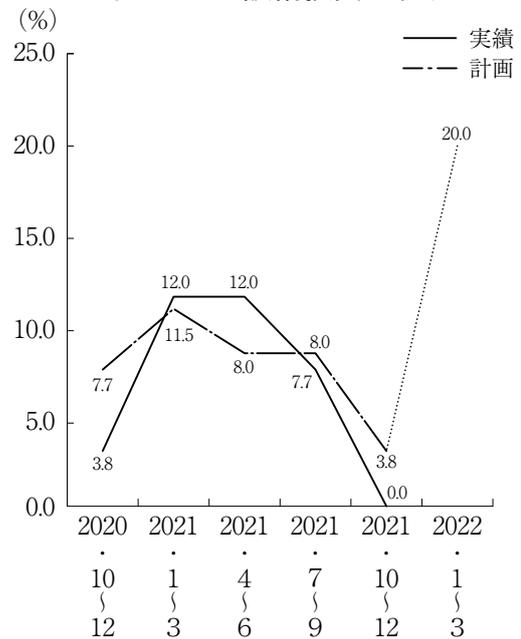


**(c) 設 備 投 資**

今期の新規投資実施 (実績) 企業割合は全体の 0.0% (前期 7.7%) で、設備投資の実施はなく、前期より△7.7 ポイント減少した。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 20.0%で、その設備内容は、土地、建設機械、車両・運搬具、付帯施設となっている。

**図 2-4 設備投資の状況**

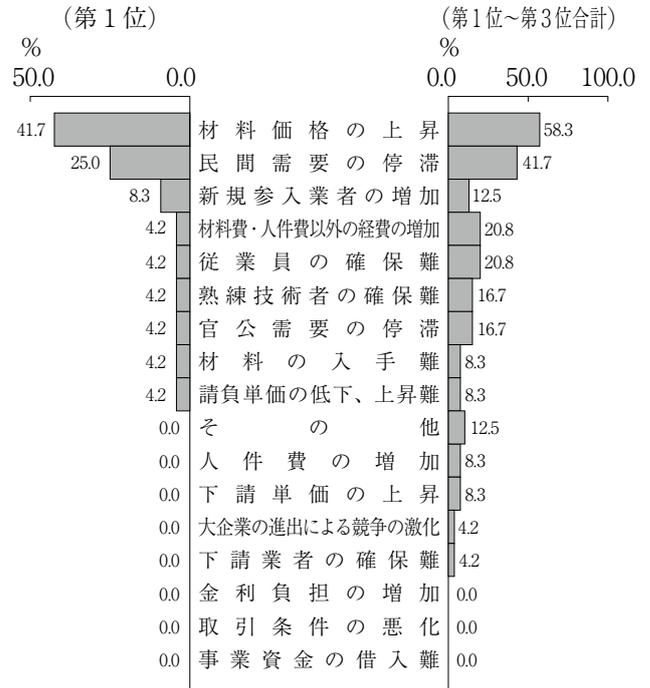


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「材料価格の上昇」が41.7%で、次いで「民間需要の停滞」が25.0%、「新規参入業者の増加」が8.3%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも、「材料価格の上昇」が58.3%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「民間需要の停滞」が41.7%、「材料費・人件費以外の経費の増加」と「従業員の確保難」が20.8%で続いた。

図2-5 経営上の問題点



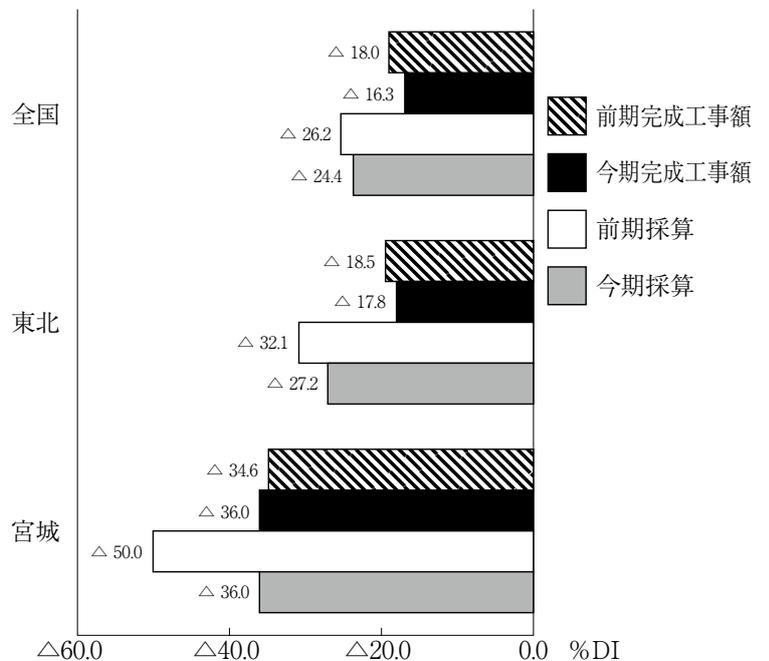
### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較では、完成工事額D Iは全国で改善、東北で若干の改善、宮城で悪化となった。

採算D Iの比較では、全地域（全区分）で改善した。その改善度は宮城、東北、全国の順であった。

本県回答事業所からは「年末に向けての受注が増加しているが、年明け以降の状況は不確定」や「ウッドショック等で仕入れの納期も価格も安定せず、経費増の状態」などのコメントが寄せられた。

図2-6 全国東北宮城完成工事額・採算比較（前年同期比）



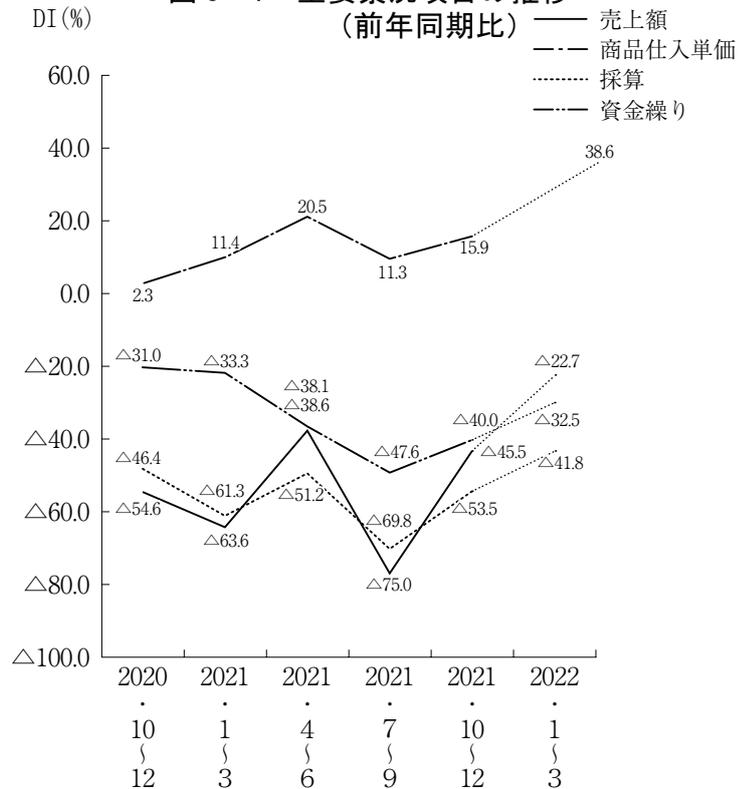
### (3) 小売業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

売上額D Iは今期△45.5(前期△75.0)と前期より29.5ポイント改善、採算D Iも今期△53.5(前期△69.8)で16.3ポイント改善、資金繰りD Iでも今期△40.0(前期△47.6)で7.6ポイント改善した。

商品仕入単価D Iは今期15.9(前期11.3)となり、4.6ポイント上昇した。

図3-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



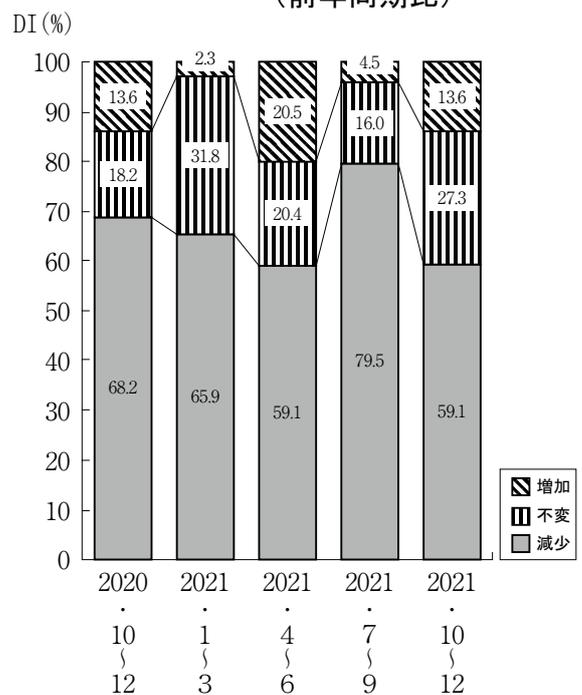
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の13.6%(前期4.5%)で9.1ポイント増加、「減少」の回答は、今期は全体の59.1%(前期79.5%)で△20.4ポイント減少した。

その結果、売上額D Iは今期△45.5(前期△75.0)と前期より29.5ポイント改善した。

図3-2 売上額の状況  
(前年同期比)

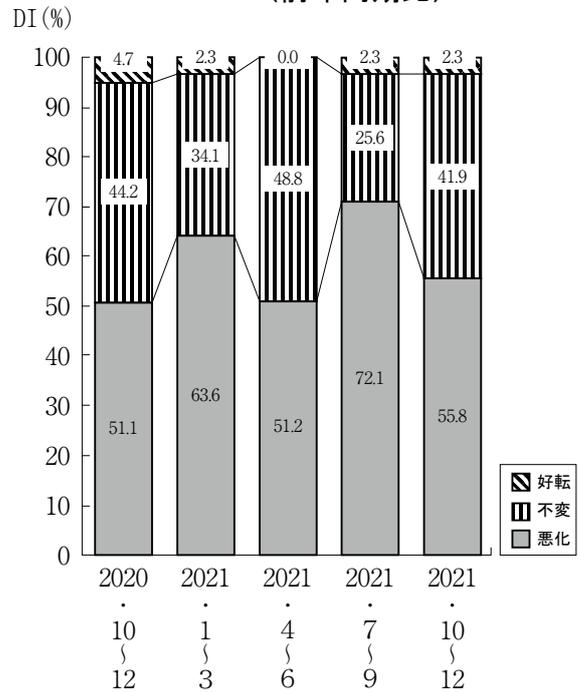


**(b) 採 算**

「好転」と回答した企業は、今期は全体の2.3%（前期2.3%）と横ばい、「悪化」の回答は、今期は全体の55.8%（前期72.1%）で△16.3ポイント減少した。

その結果、採算D Iは今期△53.5（前期△69.8）で、前期より16.3ポイント改善した。

**図 3-3 採算の状況  
（前年同期比）**



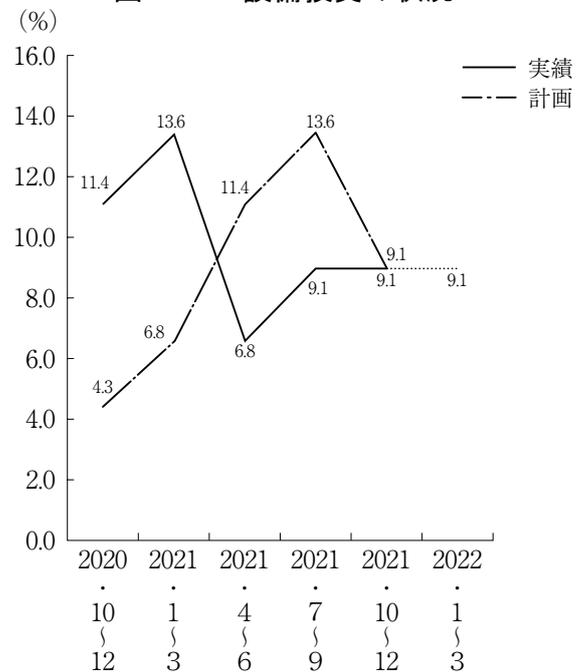
**(c) 設 備 投 資**

今期の新規投資実施（実績）企業割合は、今期は全体の9.1%（前期9.1%）で、横ばいであった。

その設備内容は、店舗、販売設備、OA機器、福利厚生施設、その他であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の9.1%で、その設備内容は、店舗、車両・運搬具、付帯施設、OA機器となっている。

**図 3-4 設備投資の状況**

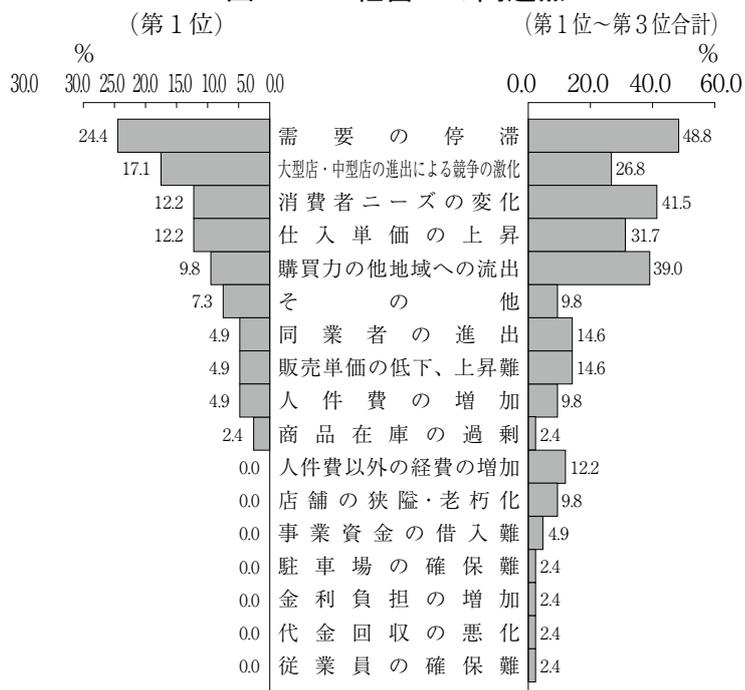


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位は「需要の停滞」が24.4%で、次いで「大型店・中型店の進出による競争の激化」が17.1%、「消費者ニーズの変化」と「仕入単価の上昇」が同率12.2%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも、「需要の停滞」が48.8%(複数回答合計、以下同じ)で最上位、次いで「消費者ニーズの変化」が41.5%、「購買力の他地域への流出」が39.0%で続いた。

図3-5 経営上の問題点



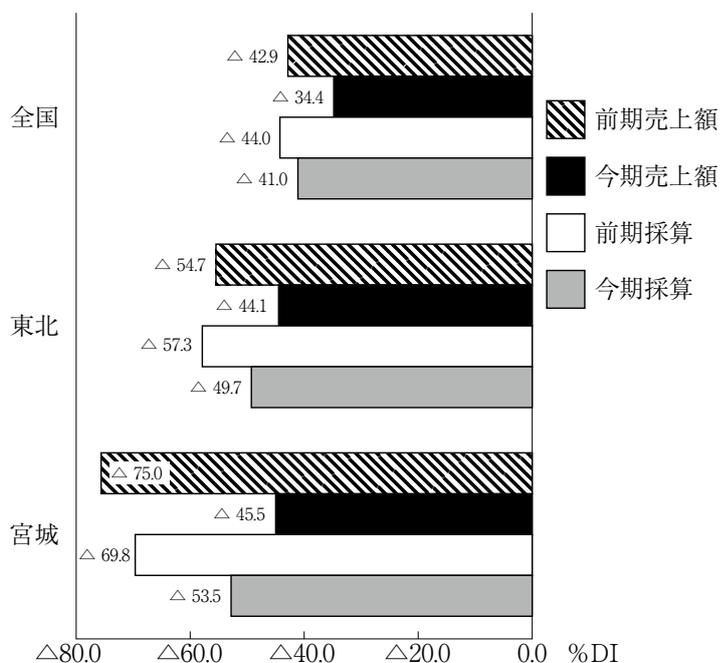
### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では、売上D Iは全地域(全区分)で改善した。その改善度は宮城、東北、全国の順であった。

採算D Iでも全地域(全区分)で改善した。その改善度でも宮城、東北、全国の順であった。

本県回答事業所から「県補助金の活用等で、来店客数、売り上げ共に向上。今後コロナ感染者が増えないことを期待」(時計等販売)や「調剤医薬品が供給不足のためその確保に奮闘中。調達機会時に多めに確保するため在庫が増加」(薬局)などのコメントが寄せられた。

図3-6 全国東北宮城売上額・採算比較(前年同期比)



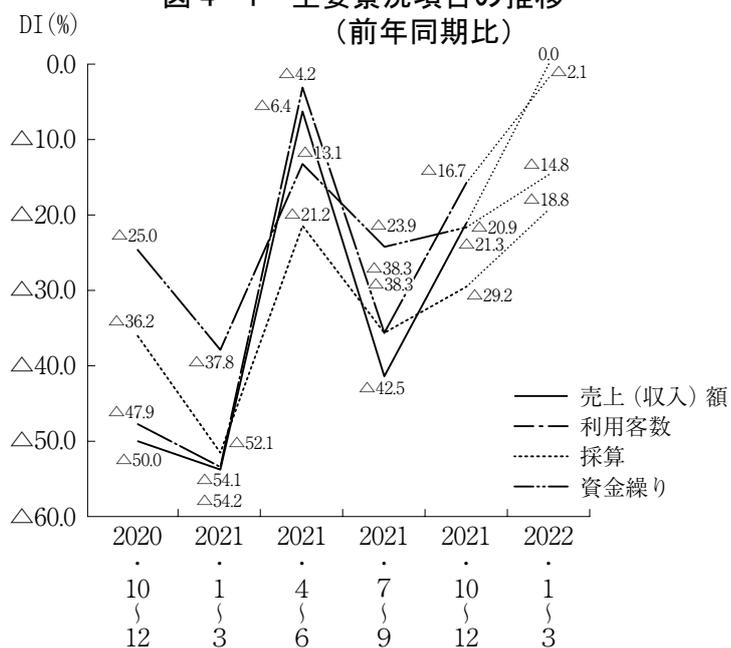
## (4) サービス業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらまし

売上（収入）額D Iは今期△20.9（前期△42.5）で21.6ポイント改善、採算D Iも今期△29.2（前期△38.3）で9.1ポイント改善、資金繰りD Iでも今期△21.3（前期△23.9）で2.6ポイント改善した。

利用客数D Iも今期△16.7（前期△38.3）で21.6ポイント増加した。

図4-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



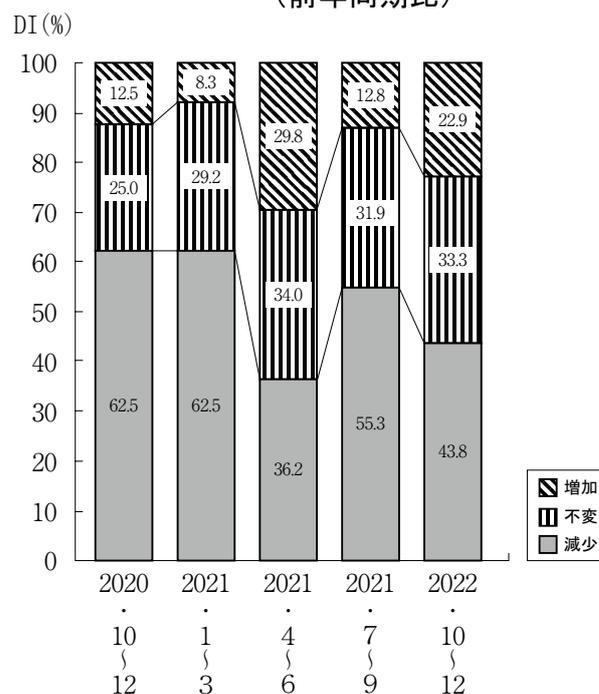
### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 売上（収入）額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の22.9%（前期12.8%）で前期より10.1ポイント増加、「減少」の回答は今期43.8%（前期55.3%）で△11.5ポイント減少した。

その結果、売上（収入）額D Iは今期△20.9（前期△42.5）で前期より21.6ポイント改善した。

図4-2 売上（収入）額の状況  
(前年同期比)

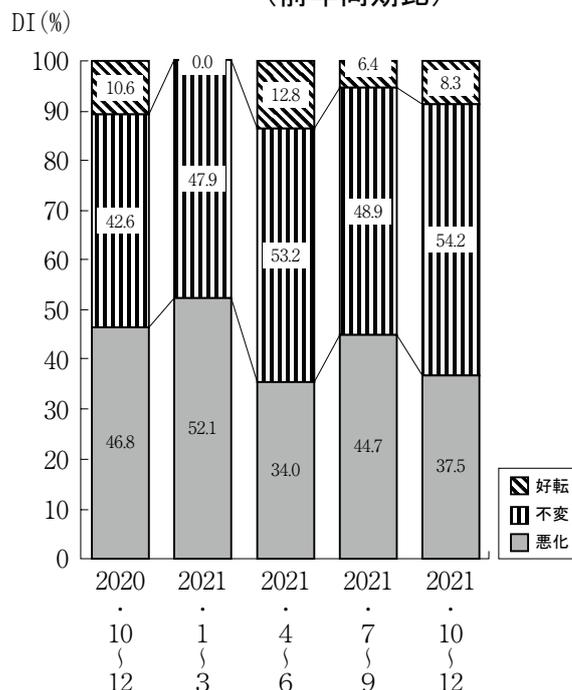


### (b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の8.3%（前期6.4%）で1.9ポイント増加、「悪化」と回答した企業は今期37.5%（前期44.7%）と△7.2ポイント減少した。

その結果、採算DIは今期△29.2（前期△38.3）で前期より9.1ポイント改善した。

図4-3 採算の状況  
(前年同期比)



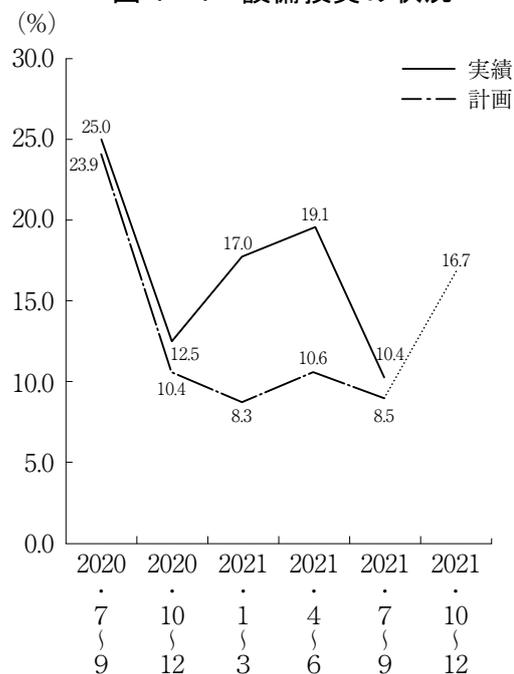
### (c) 設 備 投 資

今期新規投資を実施（実績）した企業は全体の10.4%（前期19.1%）で、前期より△8.7ポイント減少した。

その設備内容は、土地、建物、サービス、付帯施設、その他であった。

来期に設備計画している企業割合は全体の16.7%で、その設備内容は、建物、サービス、車両・運搬具、付帯施設、OA機器、その他となっている。

図4-4 設備投資の状況

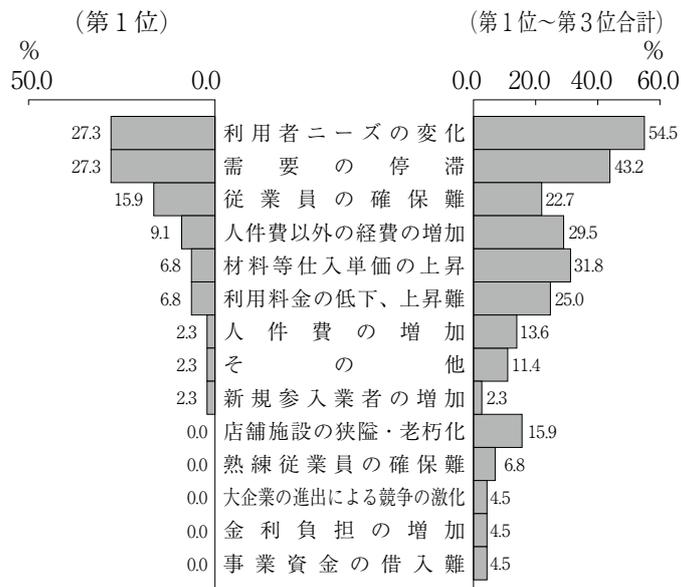


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位は「利用者ニーズの変化」と「需要の停滞」が同率27.3%で、次いで「従業員の確保難」が15.9%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では「利用者ニーズの変化」が54.5%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「需要の停滞」が43.2%、「材料等仕入単価の上昇」が31.8%で続いた。

図4-5 経営上の問題点



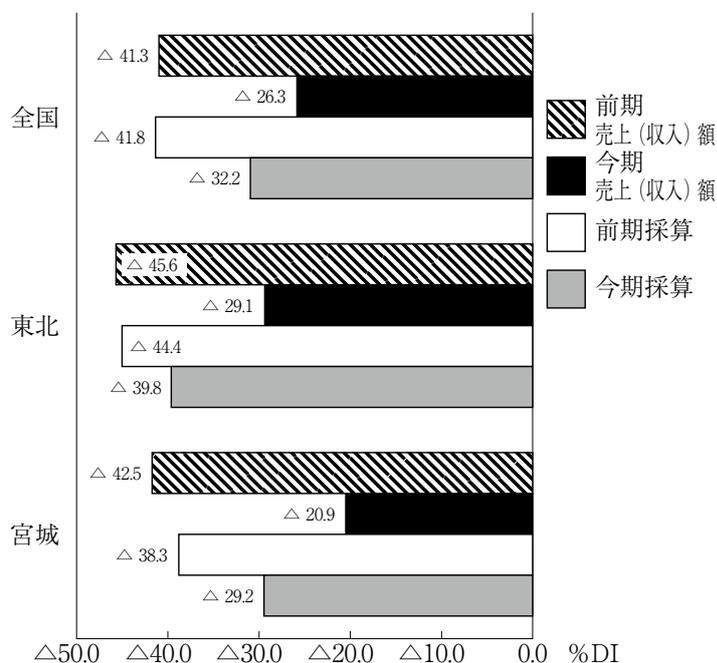
### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

#### の景況比較

前期と今期の比較において、売上(収入)DIは全地域(全区分)で改善した。その改善度は宮城、東北、全国の順であった。

採算DIでも全地域(全区分)で改善した。その改善度は全国、宮城、東北の順であった。

図4-6 全国東北宮城売上(収入)額・採算比較(前年同期比)



本県回答事業所からは「県の宿泊キャンペーンで予約が増加。一方でキャンペーン終了後の反動が心配」(宿泊業)や「時短営業も解除となり、通常営業に戻ったが、お客の日頃の生活様式も変わって、宴会等の予約が激減」(飲食業)などのコメントが寄せられた。

